



愛・地球博協賛 2005ITUトライアスロン世界選手権蒲郡大会

きりよの ディス イズ

This is トライアスロン

陰の立役者

皆さん、今年のゴールデンウィークは、どの様に過ごされましたか？今は気候もよく、お出かけやスポーツには最高の季節ですね。

さて、前回まではトライアスロン競技や選手についてのお話でしたが、今回は大会の裏側を少しお話ししましょう。

コースが広域にわたるトライアスロンは、大会を開催するにあたり、さまざまな安全対策が必要になります。警察、海上保安庁、道路管理事務所などの許可はもちろんのこと、近隣住民や営業店などの同意が必要です。また、コース各所には、交通規制看板やガードマンの配置、ライフセーバーや医師の確保も必要です。そして忘れてはならない重要な存在がボランティアです。その主な仕事は、選手に飲み物を渡したり、コース誘導をしたりすることですが、これは選手が安全快適に競技するためには不可欠な役割です。

世界選手権では、海外から多くの選手や関係者が蒲郡を訪れます。この人たちに素晴らしい思い出を持って帰ってもらえるかどうか、ボランティアや市民の皆さんにかかっています。素晴らしい世界選手権大会になるよう、皆さんのご協力をお願いします。ボランティア募集の詳細は、広報がまごおり6月1日号でお知らせしますので、興味のある方は、ぜひ、ご参加ください。



2004ITUトライアスロンワールドカップ蒲郡大会の模様

きりよ
鈴木貴里代日本トライアスロン連合技術副委員長
アテネ五輪トライアスロン競技公式審判員

万博へいこう！

未来の乗り物

Q：万博の会場内にはどんな乗り物があるの？

A：会場内を移動するためには、グローバル・ループ（空中回廊）などを利用した徒歩での移動に加えて、先端のIT技術を活用した新しい交通システムとして開発された輸送機関「IMTS」、グローバル・ループ上を走る「グローバル・トラム」、長久手会場内を南北につなぐ「キッコロ・ゴンドラ」、長久手・瀬戸両会場を結ぶ「モリゾー・ゴンドラ」、CO2や有害物質を排出しない「会場間燃料電池バス」などがあります。これらは、来場者の快適な移動を実現するだけでなく、新しい移動手段として、まるで遊園地の乗り物に乗るかのような楽しさを感じさせてくれます。



グローバル・トラム



IMTS

広大な万博会場では、移動そのものが、楽しいアトラクションなのです。皆さんも、会場で、未来の乗り物に触れてみてはいかがでしょうか。

企画調整課 ☎66・1162